

協乗埼

# 「車いす利用者断れない」 UD研修 都内乗車拒否に言及

者、内部障がい者、発達障  
がいがい者、知的障がい者、精  
神障がい者、妊婦などのそ  
れぞれの特性と課題、その  
対応方法を紹介。自社で起  
きた具体例も交えながらわ  
かりやすく説明した。  
講習は午前中から夕方ま  
で一日がかり。午後は、受  
講者が互いに車いすに乗せ  
合い、実際の取り扱いを体  
験した。

埼玉県乗用自動車協会

(小谷彰治会長)は17日、

ユニバーサルドライバー

(UD)研修を今年1月以

来10カ月ぶりに開催した。

講師の明野真久昭和タクシ

ー社長は参加した11社の乗

務員26人を前に、東京都内

で起きたUDタクシーによ

る車いす利用者の乗車拒否

に言及し、「車いすの利用

者は断れない」ことを強く

訴え適切な対応を求めた。

埼玉法人タクシー業界で

第1号のUD研修認定講師

で自社でも福祉に力を入れ

る明野氏は「障害者にやさ

しいタクシー 乗車拒否」

という見出しのニュースを

紹介しながら、「『遅い』

と言われても、教育不足と



車いすにブレーキをかけ安定させる  
基本操作を行う受講者(17日、さい  
たま市)

いう非難で済むが、「乗せ  
ない」というのは処分対象  
だ。車いすのお客様を断る  
ことはできない」と強調。  
ユニバーサルドライバーと  
して最も大事なのは、「何  
かお手伝いすることはあり  
ますか」と声かけしニーズ  
を探ることとし、「これを  
身につければ3割は講習を  
終えたようなもの」と述べ  
た。  
高齢者、認知症者、肢体  
不自由者、視・聴覚障がい